

## TextAlive App 開発者規約

本 TextAlive App 開発者規約（以下「本規約」といいます）は、国立研究開発法人産業技術総合研究所 人間情報インタラクション研究部門 メディアインタラクション研究グループ(承継先を含み、以下「当グループ」といいます)が研究開発および実証実験を進めている「TextAlive App API」を利用して提供されるサービス（後継、関連、類似及びその他の派生サービスを含み、以下「本サービス」といいます）に関し、各開発者（個人及び団体を含み、以下「開発者」といいます）が TextAlive App を開発するにあたっての諸条件について規定します。

## 【開発者】

1. 開発者は、本規約に記載の諸条件を遵守することにつき当グループと拘束力のある合意を締結することに同意し、未成年の場合は、親権者の同意を得る等の適用のある法域の法律に従い適法に本サービスを利用できる者であることを表明します。

2. 本サービスは本規約に拘束されることに同意している者のみが利用できるものとします。

3. 当グループは、次の各号のいずれかに該当する場合、開発者の申込を承諾しないことがあります。

(1) 当グループに対する通知内容に虚偽の内容が記載され、もしくはそのおそれがある場合

(2) 前各号のほか、当グループが、利用申込を承諾することが不適當であると判断した場合

## 【サービスの利用】

1. 開発者は、本サービスに関し、当グループがウェブサイトで明示している使い方、埋め込み方法、各 API 仕様、その他の当グループが指示する方法で、App を無償で開発し、ウェブサイト上で公開することができるものとします。

2. 開発者は、App に当グループの情報（音楽地図、歌詞テキストの発声タイミング、生成されたアニメーション、統計データ等、当グループ及びユーザ（TextAlive ユーザ及び App ユーザを含みます。以下同様とします）によって提供される、これらについてのすべての関連情報をいいます）を埋め込む場合、本サービス上の API その他当グループが指定する手段を使用することとします。

3. 本サービスのいかなる画像や情報についても、印刷や画像キャプチャによる複製その他 App 外における利用ができない仕様とします。
4. 本サービスの外部埋め込みプレーヤその他の API を用いてウェブサイト等を制作する際は、当該 API を利用していることを所定の方法で明示することとします。

**【開発者の義務】**

1. 開発者は、自己の名と責任において、瑕疵のない App を提供するものとします。
2. 開発者は、本規約のほか、TextAlive 利用規約及び Songle 利用規約を注意深く読み、内容につき遵守します。
3. 開発者は、App を提供する際に、本規約の別紙に添付する TextAlive App 利用規約を、App ユーザにとってわかりやすい場所に表示し、App ユーザに対し遵守させることを約束します。本サービスの利用に関し、開発者が第三者に与えた損害については、開発者が自己責任で解決し、当グループに費用や損害を被らせないものとします。
4. 開発者は、App ユーザとの通信におけるセキュリティを確保するために、暗号化等の適切な安全措置を講じなければならないものとします。

**【開発者による各種コンテンツの使用】**

1. 開発者が App の開発に際して使用するコンテンツのうち、当該開発者が本サービスにおける一切の使用につき権利を有するもの又は本サービス上での一切の使用につき権利者より許諾を得たものを、総称して「利用可能コンテンツ」といいます。利用可能コンテンツには、著作権等管理団体が管理又は信託的譲渡を受け管理する楽曲を、当該著作権等管理団体との包括契約により権利処理が完了している動画投稿（共有）サイトやブログサービス等の UGC コンテンツサービス内で利用する場合のコンテンツを含みます。例えば、開発者本人による作詞、作曲、演奏、作画等によるもの、権利を有する第三者から本サービス上での一切の使用を明示的に許諾されたものなどが、利用可能コンテンツにあたります。
2. 開発者が使用するコンテンツのうち、利用可能コンテンツ以外のもの、すなわち、第三者による創作が含まれ、本サービス上の利用につき権利者による使用許諾を得ていないものを、「第三者コンテンツ」といいます。なお、開発者本人の創作によるものであっても、著作権管理団体に管理委託又は信託されている場合は、第三者コンテンツとみなします。ただし、著作権等管理団体が管理又は信託的譲渡を受け管理する楽曲を、当該著作権等管理団体と包括契約により権利処理が完了している動画投稿（共有）サイトやブログサービス等の UGC コンテンツサービス内で利用する場合のコンテンツを除きます。

3. 開発者は、App の開発において、利用可能コンテンツのみを使用し、第三者コンテンツを使用せず、又は App ユーザに TextAlive App ユーザ利用規約を遵守させることで、App ユーザに使用させないこととします。

4. 開発者は、App ユーザが、TextAlive App ユーザ利用規約に反してユーザ生成コンテンツを公開していることを発見した場合、直ちに当グループに報告し、その指示に従うものとします。

#### 【権利帰属等】

1. App 開発にあたって利用されるコンテンツ（楽曲、テキスト、イラスト、フォントなど）の著作権は、当該各コンテンツの権利者に帰属し、開発者はこれらの権利を取得するものではありません。開発者がこれらのコンテンツを、App を通してウェブサイト上に埋め込んで表示したり、動画共有サービスにアップロードしたりする等利用を行う際には、各コンテンツのライセンス条件に拘束されます。また、後述の通り本サービスその他のクレジットを付与する必要があります。

2. 開発者は、App 上又は当該開発者以外の第三者（当グループを含む）の情報、データその他の知的財産の全部又は一部を頒布、再配信、公表、サブライセンス、委任又は譲渡することができません。

#### 【開発者の同意事項】

1. 当グループは、開発者による App に関連する一切の情報を取得し、当該情報及び App を実証実験、App 又は本サービスの改善又は将来提供するサービスの開発その他当グループの研究開発に有益又は必要な目的で、開発者の同意なく自由に使用することができるものとします。当グループは、利用ログや入力されたプログラム等を、研究開発やシステム改善のために保存利用することがあります。開発者は、App の利用にあたり、あらかじめこのことに同意します。当グループは、これらの情報を、上記の目的以外の目的に使用せず、また、第三者に開示、漏洩しないものとします。

2. 開発者は、当グループの信用を著しく損なわせる又は App ユーザに損害を与える障害が App に生じ、または生じる可能性があるとして認識した場合、又は App の利用状況その他に関して当グループが指定する事項について当グループの請求があるときはいつでも、当グループの指定する方法で報告を行わなければならないものとします。

3. 開発者は、自らが開発した App やプログラム等が、投稿時に指定したライセンスの範囲内で、当グループによって編集・加工その他の改変がなされることがあることを、予め同意するものとします。

**【免責事項】**

1. 本サービス及び App は研究開発および実証実験の一環として提供されるものであり、当グループは、本サービス又は App の利用に関連して開発者又は第三者に生じた損害等につき、一切の責任を負わないものとします。

**【クレジット】**

1. 開発者は、App の利用の際には、当該 App が、当グループの研究成果に依拠して作成されたものである旨を表示することとします。

2. 前項の表示は、当グループのサービス名称の標章・ロゴ・画像（以下「クレジット」といいます）や当該コンテンツの URL（例: <https://textalive.jp/songs/XXX>）など、当グループの指定に従っておこなわれるものとします。開発者は、本項に従う場合を除き、当グループの事前の同意なくクレジットを使用することはできません。

3. 開発者が開発した App には、プログラム、楽曲、テキスト、イラスト、フォント等のコンテンツが含まれるため、開発者が生成した App 及び App ユーザの端末上に表示される画像等には、それらの全ての制作者（作曲者、作詞者、歌唱・演奏者、イラストレーター、アニメ制作者等）名を適正に表示することとします。

4. 開発者は、当グループに関連するクレジットを、当グループのイメージを毀損する方法、第三者に対して開発者と当グループが提携関係にあるかのような誤解を与えるような方法、その他の当グループが不適切だと判断する方法で利用することはできないこととします。

**【非商用・商用利用】**

1. 参考として、以下に掲げる場合には、商用利用とみなします。

(1) 開発者が、開発した App について第三者から利用料その他の利用の対価を得る場合。ただし、開発者による App の開発にあたり、非営利団体が、当グループが認める規模の広告収入のみを得る場合には、非商用利用とみなします。

(2) 開発者が、実費を超過する額の広告収入その他の収入を得る場合

(3) 営利団体が、App の公開に関連して利用料・広告収入その他名目を問わず利益を得、又は本サービスを宣伝広報目的にて利用する場合

2. 商用利用は、当グループの事前の書面による承諾なく行えないものとします。商用利用をお考えの場合は（textalive-ml [at] aist.go.jp）までご相談ください。

**【禁止事項】**

1. 開発者は、App の開発にあたり、以下の行為を行ってはならないものとします。

- (1) 非公開部分へのアクセス・不正な改ざん又は使用
- (2) ネットワークの脆弱性の探索、コピー、スキャン又はテスト
- (3) 本サービスに関連する API その他のプログラムについての逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング、その他の方法でのソースコードの解読
- (4) セキュリティ若しくは認証方法の侵害若しくは回避
- (5) 方法の如何を問わず、改ざんされた情報、詐欺的情報若しくは情報源を偽装した情報を送る目的その他不適切又は違法な目的での利用
- (6) コンピューター・ウィルスその他の有害なコンピューター・プログラムを含む情報を送信する行為
- (7) 他の開発者若しくはネットワークのアクセス妨害若しくは遮断又は他の開発者の利用に支障を与える行為
- (8) 機能の妨害、遮断、中断、フィルタリング又は無効化
- (9) 本サービスから得られたデータの蓄積、販売、再配信、サブライセンス、委任又は譲渡
- (10) 本サービス又は App の運営を妨げる行為
- (11) 本サービス又は App と類似のプログラムやデータを作成する行為
- (12) 当グループ、開発者その他の第三者の知的財産権、肖像権、プライバシーの権利、名誉その他の権利又は利益を侵害する行為（かかる侵害を直接又は間接に惹起する行為を含みます）
- (13) 犯罪行為に関連する行為又は公序良俗に反する行為
- (14) 本サービス又は App の違法又は不当な方法による利用

(15)表示されたライセンス条件に従わないコンテンツの利用

(16) 本規約に違反する行為

(17) 前各号に定めるほか、当グループが不適切と判断する方法による利用

2. 当グループは、問題の検知、防止若しくはその対処を行うことができるものとし、当グループが必要と判断した範囲内で開発者の情報についてアクセス、閲覧、保存、管理、及び公開する権利を有するものとします。

#### 【利用制限】

1. 当グループは、開発者が本規約に違反していると当グループが判断する場合、その他当グループが必要と判断した場合には、当該開発者の開発した App を無効化する等、当グループが適切と判断する方法で、予告なく、App ユーザによる当該 App の使用を停止することができるものとします。

2. 前項による場合のほか、当グループは、いつでも、当グループの裁量において、特定の開発者に対し、予告なく、本サービスの一部若しくは全ての提供を停止し、開発者による利用を制限し、又は開発者のフィードバックを削除することができるものとします。また、当グループが開発者に対し、本サービスを構成する情報の掲載の中止を求め、又は本サービス若しくは App の具体的利用方法の指定をした場合には、開発者は当グループの当該指示に従うものとします。

3. 当グループは、前各項に基づき開発者に対する本サービス又は App を停止したことにより、App ユーザその他の第三者に生じた損害について、一切責任を負わないものとします。

#### 【更新の義務】

1. 当グループが提供する API その他のサービスの内容・仕様は、予告なく変更又は更新されることがあります。開発者は、常に最新の情報を開発者が開発した App 等に反映するものとします。

2. 当グループは、前項の規定に基づく API その他のサービスの情報更新に基づき、開発者に直接的又は間接的に発生したあらゆる紛争、損害等について、一切責任を負いません。

**【責任等】**

1. 本サービス又は App を介して投稿された若しくは本サービス又は App を通じて取得したコンテンツの使用又はこれらへの依拠は、開発者の自己責任において行うものとします。当グループは、開発者が本サービスの利用により取得したいかなるコンテンツや解析内容について、その合法性、正確性、又は信頼性を表明又は保証するものではなく、これらについて一切の責任を負いません。本規約に基づき当グループが開発者による本サービス又は App の利用を停止又は制限した場合も同様とします。

2. 開発者は、自らが開発した App（App の開発にあたり使用したコンテンツを含み、次項についても同様とします）につき、本サービス上での当該開発者及び App ユーザによる利用について一切の権利を有し、第三者の著作権、著作者人格権その他の権利を侵害しないことをここに表明し、保証します。

3. 開発者は、開発者による本規約違反又は本サービス若しくは自ら開発した App に関連して第三者からクレームを受け、又は当グループ若しくは第三者に損害（弁護士費用を含みます）を与えた場合、開発者の責任と費用でこれを賠償するものとし、当グループに迷惑や責任を及ぼさないものとします。

4. 前項に関わらず、当グループは、自らが紛争等の解決にあたる必要があると判断した場合においては、前項に定める第三者との紛争等を、自ら解決することができるものとします。この場合、当グループは、開発者にその一切の損害および費用（弁護士費用を含みます。）を、請求することができるものとします。

5. 開発者は、自らが開発した App が著作権を侵害する方法でコピーされたと判断される場合、当グループの指定する窓口（textalive-ml[at]aist.go.jp）まで報告しその指示に従うものとします。当グループは、当該不適切な利用に対し、本サービスの利用停止等の措置を講じることがありますが、当該不適切な利用について一切の責任を負わないものとします。

**【反社会的勢力の排除】**

1. 開発者は、現在、暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標ぼうゴロ又は特殊知能暴力集団等、その他これらに準ずる者（以下総称して「暴力団員等」といいます）に該当しないこと、及び次の各号のいずれにも該当しないことを表明し、かつ将来にわたっても該当しないことを確約するものとします。

(1) 暴力団員等が経営を支配又は実質的に関与していると認められる団体その他これらに準ずる者と関係を有すること

(2) 自己若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を加える目的をもってするなど、不当に暴力団員等を利用していると認められる関係を有すること

(3) 暴力団員等に対して資金等を提供し、又は便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること

2. 開発者は、自ら又は第三者を利用して次の各号の一にでも該当する行為を行わないことを確約するものとします。

(1) 暴力的な要求行為

(2) 法的な責任を超えた不当な要求行為

(3) 取引に関して、脅迫的な言動をし、又は暴力を用いる行為

(4) 風説を流布し、偽計を用い又は威力を用いて相手方の信用を毀損し、又は相手方の業務を妨害する行為

(5) その他前各号に準ずる行為

**【準拠法・裁判管轄】**

本規約その他開発者と当グループの合意事項に関連して紛争が生じた場合には、日本法を準拠法とし、東京地方裁判所を第一審の専属的管轄裁判所とします。

2021年7月16日作成